

JIS

平衡配線設備ーエンド ツー エンドリンク, モジュラプラグ終端リンク及びダイレクト アタッチ配線設備の測定

JIS X 5153 : 2022
(ISO/IEC 14763-4 : 2021)
(JSA)

令和 4 年 12 月 20 日 制定

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 情報分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	渡 邊 創	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	安 形 輝	亜細亜大学
	石 井 正 悟	独立行政法人情報処理推進機構
	伊 藤 雅 樹	株式会社日立製作所
	菊 川 裕 幸	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会
	寺 田 真 敏	東京電機大学
	中 上 直 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会
	仲 谷 文 雄	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	福 田 昭 一	富士通株式会社
	山 口 大 輔	総務省国際戦略局

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 4.12.20

担 当 部 署：経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 4.12.20

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル)

素 案 作 成 者：一般社団法人電子情報技術産業協会
(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル)

審 議 委 員 会：情報分野産業標準作成委員会 (委員長 渡邊 創)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義並びに略語	2
3.1 用語及び定義	2
3.2 略語	2
4 適合性	3
5 E2E リンク, MPTL 及びダイレクトアタッチ配線設備の伝送性能	3
6 E2E リンク, MPTL 及びダイレクトアタッチ配線設備の伝送性能規格値	3
7 E2E リンク, MPTL 及びダイレクトアタッチ配線設備の基準面	4
7.1 E2E リンクの基準面	4
7.2 MPTL の基準面	4
7.3 ダイレクトアタッチ配線設備の基準面	5
8 試験	5
8.1 一般	5
8.2 E2E リンク, MPTL 及びダイレクトアタッチ配線設備の実験室試験	6
8.3 E2E リンク, MPTL 及びダイレクトアタッチ配線設備の現場試験	6
9 テストヘッド要件	7
9.1 一般	7
9.2 IEC 60603-7 規格群に従ったテストヘッドの追加要件	7
9.3 IEC 61076-2-101 のテストヘッド要件	7
9.4 IEC 61076-2-109 のテストヘッド要件	7
附属書 A (参考) E2E テストヘッドの性能例	9
附属書 B (規定) E2E リンク, MPTL 及びダイレクトアタッチ配線設備の基準性能試験体系及び施工性能試験体系	10
参考文献	12
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

平衡配線設備—エンド ツー エンドリンク、 モジュラプラグ終端リンク及びダイレクトアタッチ 配線設備の測定

Information technology—Implementation and operation of customer premises cabling—Part 4: Measurement of end-to-end (E2E) links, modular plug terminated links (MPTLs) and direct attach cabling

序文

この規格は、2021年に第2版として発行されたISO/IEC 14763-4を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

JIS X 5150-1に適合する平衡配線チャネルの試験では、チャネルの両端にある可動形コネクタの性能を検証するものではない。

この規格は、それらの終端コネクタの性能を検証する次の三つの配線構成の測定について記載する。

- a) JIS X 5150-3 (ISO/IEC 11801-3)に規定されているエンド ツー エンド (E2E) リンク
- b) ISO/IEC TR 11801-9910に記載されているモジュラプラグ終端リンク (MPTL)
- c) ISO/IEC TR 11801-9907に記載されているダイレクトアタッチ配線設備

この測定には、試験対象の配線設備を終端するコネクタ部材の伝送性能が含まれる。

1 適用範囲

この規格は、次の2対平衡配線設備及び4対平衡配線設備の測定方法について規定する。

- a) クラスD、クラスE及びクラスE_Aのエンド ツー エンド (E2E) リンク
- b) クラスD、クラスE、クラスE_A、クラスF、クラスF_A、クラスI及びクラスIIのモジュラプラグ終端リンク (MPTL)
- c) クラスD、クラスE、クラスE_A、クラスF、クラスF_A、クラスI及びクラスIIのダイレクトアタッチ配線設備

この測定には、現場環境及び実験室環境で、2対及び4対を終端する可動形コネクタが含まれている。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO/IEC 14763-4:2021, Information technology—Implementation and operation of customer premises cabling—Part 4: Measurement of end-to-end (E2E) links, modular plug terminated links (MPTLs) and